

# 彼方「かなた」

校長通信  
H24.4.23  
Vol.7

「新入生歓迎集会を終えて」

先週十八日（水）、新入生歓迎集会が行われました。各委員会と各部活動の発表が中心でしたが、それぞれ僅か二分程度しか持ち時間がないうちで、一生懸命工夫を凝らし、一年生に入部して欲しいという願いがストレートに感じられる発表を繰り広げました。春の日差しも加わり、会場となった体育館は何だか温かな空気に包まれました。

特に二、三年生の部活動発表は、聞いている方が恥ずかしくなるような台詞も真剣に堂々と発表していました。演技も真剣そのもの、スピードのある投球やスマッシュ、アタック、素振り、組み手、そして実験や演奏、作品紹介等、本当に「あっ」という間に終わってしまう楽しい時間となりました。

「校長先生のお話」は、「人のために今を一生懸命生きる！」という生き方について話をしました。

『人の生き方には「人のために今を一生懸命生きる」というのがあります。それを積み重ねていくと、自分の役割が見え、それを一生懸命

果たす生き方ができ、自分の良さを伸ばすことができると思います。ところが「〇×」、「損得」、「できた・できない」という結果ばかりを気にする生き方は、できたときの達成感を得られませんが、取り組んでいるときの安心感や幸福感はあまり得られないように思います。時には、結果に対する不安感から失敗を避け、動けなくなることもあります。その時々を真剣に一生懸命生きるという日本人が昔から当たり前のようにやってきたことをもう一度意識して、生活をつくりませんか？もし、運動系部活動に入部したら、三年生が夏の大会で引退するまで、三年生のために一生懸命部活動に参加して盛り上げてください。これは二年生も同じです。三年生は、後輩に必死に打ち込む姿を見せてください。一日一日の活動を大切にして、その時その時をめいっぱい取り組んでください。「今を一生懸命頑張って生きる」ことを積み重ねてください。そうすれば自分が成すべきことが見えてくるはずですよ！』というような話をしました。全員真剣な表情で顔を上げて最後まで聞いてくれました。

二、三年生は、一年生のために僅か二分の発表を一週間以上かけて、部員全員で何度も何度も練習し、真剣に作り上げ発表しました。一年生は、先輩の発表に応えられるように校歌を何度も何度も練習しました。そして、一年生のお



は体育館の壁が震えるようなものすごい校歌が聴けると思います。

生徒会総務の素敵な取り組みに感謝しつつみんなで大きな拍手をし、歓迎集会の幕がおりました。準備期間が少ないスタートの行事としては、十分に合格点がもらえる楽しい会となりました。

「伝説の学校」の十二の実践のひとつ「充実の自治活動」に一步近づきました。今後も沢山の行事が行われます。そのひとつひとつが湖北中生徒のプライドとなるよう自分の役割を精一杯果たし、みんなで一生懸命取り組み、全校がひとつになれる、そんな学校行事を生徒会中心に作り上げていきたいと思えます！



礼の校歌の後半では、

二、三年生がフォロウに入り、一緒に歌うという粋な演出を生徒会総務の皆さんが行ってくれました。三つの学年が揃って歌う校歌はわくわくします。きつと卒業までに